

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第 56 回 PWR 水化学管理指針作業会 議事要旨 (案)

1. 日 時 : 2018 年 11 月 2 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 45

2. 場 所 : 原子力安全推進協会 第 4 会議室

3. 出席者 : (敬称略)

委員) 河村、赤峰、手塚、杉野、高須賀、古賀、梅原、荘田、西村

以上 9 名

オブザーバー) 久宗

4. 配布資料

P11PWG-56-0 : 第 56 回 PWR 水化学管理指針作業会議事次第

P11PWG-56-1 : 第 55 回 PWR 水化学指針作業会議事録要旨 (案)

P11PWG-56-2 : 第 39 回水化学管理分科会議事録 (案)

P11PWG-56-3 : 水化学管理分科会に係るコメント対応表 (案)

P11PWG-56-4 : 標準委員会決議投票コメント対応案

P11PWG-56-5 : 関村委員長コメント対応案

P11PWG-56-6 : PWR 二次系水化学管理指針検討スケジュール (案)

P11PWG-56-7-1 : 標準委員会決議投票結果

P11PWG-56-7-2 : 標準委員会決議投票結果一覧

11PWG-55-参考-1 : PWR 二次系水化学管理指針 (決議投票用)

5. 議事要旨

(1) 主査の交代

選挙の結果、河村主査から、赤峰主査に交代することが決議された。

(2) 第 55 回 PWR 水化学指針作業会議事要旨 (案)

梅原幹事より、資料「P11PWG-56-1 : 第 55 回 PWR 水化学指針鷺鷥飼議事要旨 (案)」に基づいて前回作業会の協議内容の説明があり、了承された。

(3) 標準委員会決議投票コメント対応案

荘田副主査より、資料「P11PWG-56-4 : 標準委員会決議投票コメント対応案」の内、資料「P11PWG-56-5 : 関村委員長コメント対応案」に基づき、関村委員長のコメント対応案の説明があった。

協議の結果、下記の内容で資料を見直すこととなった。

① 原子力学会の本指針に従って管理することが FAC 抑制につながることを記載。

② 機械学会減肉管理規格にも FAC の環境抑制効果が記載されていることを記述。

③ 「しかしながら」、現状配管減肉規格には環境緩和効果は含まれていない旨記述。

④ 原子力学会本指針に従う水化学管理で得られる FAC 抑制効果を事業者が定量化を行う。

⑤ 上記実績に基づき、原子力学会が配管減肉規格と情報を共有し、これに基づいて配管減肉管理の最適化を図る。(語尾を積極的取り組み姿勢を示すべく変更。)

また、西村委員から資料「P11PWG-56-4：標準委員会決議投票コメント対応案」に基づきその他委員のコメントに対する対応案の説明を行い、比較対象の海外標準を EPRI とすること、及び審議中の懸案事項はなかった旨明記するとのコメントがあったが、内容は了承された。

(4) PWR 二次系水化学管理指針検討スケジュール (案)

梅原幹事より、資料「P11PWG-56-6：PWR 二次系水化学管理指針検討スケジュール (案)」に基づいて、今後の検討スケジュールの説明があった。

(5) 次回予定

次回作業会の予定は、別途設定することとなった。

以 上